

# 株式会社クラフト

仕事の単価を正確に図り見える化し、生産性を意識。  
日報により連絡・相談の体制を図り、業務の改善を行った。

## 取組前

きっかけ・時期・課題

- 月間平均時間外労働時間 20時間13分
- 年次有給休暇取得率 60.19% (2014年度)
  - ・個人で仕事を完了させることが多いため、1人で抱え込み、人材育成が出来ておらず、分業も出来ない。
  - ・コミュニケーション不足で効率が悪く、従業員同士の業務内容の把握が出来ていない。
  - ・時間外におよんでいる原因が分からない。
  - ・休日出勤時の労働時間・休憩時間などまとめて申告されている。
  - ・日々の管理が出来ていない。

## 取組後

成果・効果

- 月間平均時間外労働時間 19時間47分
- 年次有給休暇取得率 83.63% (2018年度)
- 全社員の年次有給休暇に対する意識が「取りにくく、気を遣うもの」から「有効活用すべきもの」へと変化した。
- 相談窓口の創設により、1人で業務を抱え込むことなく、人員を投入する・外注する等の工夫もできるようになった。

年度	生産性（時間当たり）	年次取得率
2014	100%	60%
2015	110%	83%
2016	99%	80%
2017	105%	93%
2018	149%	83%



- 業務を見える化することにより、目標・目的を明確化し、それぞれの成長を促す。

### 【取組の推進力】（経営者自らによる主導等）

- 年次有給休暇取得促進の周知と啓発に関する経営者によるトップメッセージ発信。
- 経営者自らが相談窓口となり、業務の配分を調整。

### 【取組の体制】（労使コミュニケーションの手法を含む）

- 社員全員で考える機会を設ける。（毎週月曜日）個々の業務の報告・今週のスケジュール・外注する内容等を報告。
- 2019年3月から毎週水曜日13:00-13:30、5Sの一環として掃除をしている。部署を超え2人1組で実施することにより、他部署の物品・備品の配置等を把握することが出来、日ごろ関わりの薄い社員と作業を交えながらコミュニケーションをとることが出来ている。

### 【取組の内容】

- 各自の年次有給休暇取得状況を掲示し、見える化。ためらいなく取得する風土をつくった。
- 時間単位年次有給休暇制度の導入。



## 企業概要

### 株式会社クラフト

所在地：大阪市阿倍野区

従業員：8名

事業概要（業種）：サイン、看板、ディスプレイの企画・設計・製作・施工



- 相談窓口設置により、相談を通じて他の社員の事情や業務量を把握。
- 年次有給休暇の時効消滅を防止するため、毎年の付与日に合計残日数をメールで送信。
- 毎日の終業時、日報を求めている。日報の負担を軽減するために、プルダウン等による記入方法の効率化を図っている。
- 日報には、その日の時間ごとの作業・業務内容・残業申請・早朝残業申請・明日の予定を記入。上長が毎日確認をし、チェック時刻を入力することになっている。さらに日報と会計ソフトの勤怠時間を一致させることにより、正確な労働時間の管理が可能になった。

### 【業務の見える化】

- 各商談の粗利を見える化。
  - 日報に作業・業務ごとにかかった時間を記入することにより、商談ごとに材料費・外注加工費だけでなく、労務費も計上し、正確な粗利を見える化出来るようになった。

### 【業務の削減】

- 商談ごとの粗利が正確に把握できているので、従業員・顧客へのフィードバックも正確にできるようになり、利益の上がらない商談（従来から継続しているが、利益が低い・慣例として受注している業務等）の値上げ交渉などが出来るようになった。

### 【人事評価の構築】

- 2016年度 仕事の洗い出し・棚卸。 社会保険労務士と契約をし、評価制度を構築。
- 2018年度 プレスタートし、調整を繰り返した。
- 2019年度 本格的にスタート。

### 【顧客との交渉】

- 得意とする業務による付加価値を労務費として見積りに計上し、その根拠をお客様に説明・了承してもらえるようになった。

### 【従業員の意識改革】

- 単に与えられた仕事をするのではなく、仕事の効率や取り組み方によって、担当案件の利益を生み出しているのは自分であるという意識に繋がるようになった。

### 【苦勞した点、工夫した点、成功の秘訣】

- 従業員に対して日報の作成など負担をかけることになるが、必要性を理解してもらうため十分に説明をした。会社の業績と従業員の成長の角度から理解を求めた。経費を計ることが難しい管理部門の労務費についても、商談ごとに按分し、単価に反映させたことにより、会社の利益を正確に把握することが可能になった。

### 【利用した外部資源】

- 大阪労働局 ワークショップ参加 働き方改革宣言掲載。
- 税理士により、バラバラになっていた会計と生産の管理が繋がるようにシステムを改良した。
- 社会保険労務士と契約し、評価制度を構築した。